

スペシャルナイト バレンタインコンサート

『宇宙のハーモニー ～奇跡の地球に生まれて～』実施報告

西 野 藍 子 *

概 要

2013 年 2 月 9 日(土)、スペシャルナイトとしてバレンタインコンサート『宇宙のハーモニー ～奇跡の地球に生まれて～』を実施した。本稿では、本コンサートの構成や演出方法、実施結果についてのまとめを報告する。

1. はじめに

2 月 14 日はバレンタインデー、世界各地で男女が愛を誓う日とされている。そこで当館では、バレンタインにちなんで男女の愛に限らず、家族や友人など大切な人との愛をテーマにしたバレンタインコンサートを企画した。星空や宇宙の映像と、エルノ・ローザ氏のヴァイオリン、山口 美樹子さんのピアノによる美しいハーモニーで、一夜限りの特別コンサートを行った。

2. コンセプト

今回のスペシャルナイトは、星と音楽のコラボレーションということで、通常プラネタリウムで行っている一般的な天文学に関する知識の普及という番組に比べ、より感性に働きかける演出を行った。コンセプトは以下の 2 つである。

1)宇宙を奏でるハーモニー

星雲・星団、銀河など宇宙の映像をホールいっぱいに映しだし、さらにヴァイオリンとピアノによる迫力ある美しいハーモニーを合わせることで、宇宙の壮大さ、無限の奥行きを表現する。

2)地球に生まれた私達と大切な人

広大な宇宙にある地球。そこで私達が生まれたこと、大切な人と出会ったことの奇跡をオーロラ映像や美しい音楽で表現する。

3. コンサートの構成

コンセプトに基づいて、コンサートの構成を 3 つのパートに分けることとした。以下 1)～3)に示す。

1)第 1 部 『宇宙の果てまで旅しよう』

第 1 部では、コンセプト「宇宙を奏でるハーモニー」をもとに、地球を出発して太陽系→天の川銀河→銀河団→宇宙の大規模構造と、宇宙の果てまで旅をしているような演出を行った。それぞれの映像に合う楽曲を、バイオリニストのエルノ・ローザ氏に選曲していただいた。以下に曲目と映像一覧を示す。

第 1 部 演奏曲一覧

No.	曲目	映像
1	バッハ『無伴奏ソナタ 1 番』短調 “Adagio”と“Fuga”』(ヴァイオリン・ソロ)	地球の風景
2	アルビノーニ『アダージョ』(デュオ)	日の入・夜景
3	ホルスト『木星』(デュオ)	太陽系
4	マスネ『タイスの瞑想』(デュオ)	天の川銀河、 星雲・星団
5	バガニーニ『カプリス 作品 1 第 24 番』(デュオ)	銀河団、宇宙 の大規模構造



写真1:銀河の CG 映像を背景に...

*大阪市立科学館 学芸グループ
nishino@sci-museum.jp



写真 2:宇宙の大規模構造の映像とともに...

2)第 2 部 『プラネタリウム:星の一生と私達』

プラネタリウムで冬の星座を巡りながら、星の一生についてご紹介した。「夜空を彩る星の輝きは永遠ではなく、やがては一生を終えて輝きを失ってゆく。その悠久とも思える宇宙の長い時間の中で、地球が誕生し、そして私達が生まれた—。」そんな話を通して、宇宙と私達の深いつながりを実感してもらうことを目指した。紹介した星座や星雲などを以下に示す。

第2部 星座・星雲一覧

No.	項目	内容
1	オリオン座	冬の星座の代表、オリオン座を紹介。
2	オリオン大 星 雲	オリオン座にあるオリオン大星雲は、星が誕生する現場であることを紹介。
3	おうし座	おうし座を紹介。
4	すばる	おうし座のすばるは、生まれたばかりの赤ちゃん星であることを紹介。
5	ベテルギウス	まもなく超新星爆発を起こして死にゆくオリオン座のベテルギウスを紹介。
6	かに星雲	超新星爆発の残骸・かに星雲を紹介。

3)第 3 部 『地球に生まれた私達と大切な人』

地球で一番美しいと言われる自然現象・オーロラの映像と、お客様からいただいた大切な人へのメッセージを映し出し、最後に私達がこの地球に生まれた奇跡と喜びを演出した。以下に詳細を示す。

第 3 部 演奏曲一覧

No.	曲目	映像
1	バッハ『無伴奏ソナタ 3 番 ハ長調 第 3 楽章”Largo”』(ヴァイオリン・ソロ)	オーロラ映像
2	エルガー『愛のあいさつ』(デュオ)	大切な人へのメッセージ
3	パガニーニ『ラ・カンパネラ』(デュオ)	
4	ディニク『ひばり』(デュオ・アンコール)	日の出



写真 3:美しいオーロラ映像とともに...



写真4:メッセージと愛のあふれるメロディー

4. 制作と演出方法

4-1.映像制作について

今回のコンサートでは、過去に当館の一般投影で使用した下記のプログラムの中からいくつか映像を流用し、バーチャリウムで動作させるためのスクリプトを新

たに制作した。

- ・『宇宙美術館』(2005 年 9 月～11 月)
- ・『最新！太陽系学入門』(2007 年 9 月～11 月)
- ・『はるかなる宇宙絵巻～CG で描く 137 億年の歴史』(2008 年 3 月～5 月)

また、タイトルや曲目一覧、演奏者名などの文字やアニメーション制作については、Adobe 社のソフトウェア(illustrator や AfterEffects など)を使用し、文字を加工したり動きをつけることで、より視覚的にも楽しむことができるような演出を行った。

4-2.メッセージ演出について

今回のスペシャルナイトでは、バレンタインコンサートということでカップルに限らず家族や友人など大切な人へのメッセージを募集し、プラネタリウムホールに映し出す演出を行った。いただいたメッセージの数は 36 通であった。そのすべてを映すことができ、客席からはご自身のメッセージに指をさして喜ぶ姿も見られた。

メッセージはただ映し出すだけではなく、カップルの場合はハートマーク、御家族や友人の場合はまるい円を描くアニメーション(グローエフェクト)を付けるなどして演出を工夫した。そのクライマックスとして、最後には地球の映像と 36 通すべてのメッセージを全天に映し出し、この地球に私達がいる奇跡を演出した。



写真5:全天にひろがるメッセージ

5. 総括

当日までのチケット発券枚数は、合計 301 枚だった。それに対し、実際に入場いただいたお客様は合計 264 名で、来場率は 87%となった。以下に、チケット発券内訳および当日入場者内訳を示す。

チケット発券数と当日入場者数

	チケット発券数	当日入場者数	来場率
前売り	118	107	90%
メール予約	175	149	85%
招待	8	8	100%
合計	301	264	87%

当日入場者数は、2012 年度 3 回実施したスペシャルナイトの中でもトップであり、普段あまり科学館を利用しないクラシックファンの方をはじめ、多くの方々に楽しんでもらえたイベントとなった。

また終演後、お客様からのお声をいくつかいただいたので、以下に示す。

- ・とても充実していた。これで 1,500 円とは安い。
- ・音楽と映像がとても合っていた。感動した。
- ・プラネタリウムを見たのは久しぶりで、楽しかった。
- ・自分のメッセージが流れて、嬉しかった。
- ・忘れられない素敵な思い出になった。ありがとう。
- ・こういったイベントをもっと開催してほしい。

6. 謝辞

このバレンタインコンサート実施にあたっては、演奏者のエルノ・ローザ氏と山口 美樹子さんに多大なご協力を賜りました。本紙面をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。また、エルノ・ローザ氏との出会いのきっかけをあたえてくれた友人、ローザ奈津美さんにも深く御礼申し上げます。